

本田静六博士のこと

山崎 良市

皆様、この名前をご存じの方はいますか。

私は日本の林業がなぜドイツの林業の影響を受けているのかを調べていて
本田静六博士を知りました。(すぐ名前が出てきました)

埼玉県の菖蒲町の出身で幼いころから貧乏で苦勞したようですが、頭脳明晰であった
ことから東京農林学校(後に東京大学林学科)に学びドイツに留学することになります。

以降19回も海外に視察に出かけています。明治の時代に海外に出張することは相当大変なことであ
ったと思います。それだけ本田静六博士は優秀だったのでしょう。

その海外視察の経験を活かし国内に新しい知識や新技術を持ち込みました。本田博士の偉業は林業の
確立はもとより「日本の公園の父」とも言われています。日比谷公園をはじめとして日本全国の名のある
公園の設計にほとんどかかわっています。北海道から九州まで古くからある公園には本田静六博士の名
前が必ず刻まれています。明治神宮の森や、関東大震災後の東京の復興図を描いたのも本田静六博士で
す。

明治32年に林学博士の学位を取得し日本の林学博士の第一号となりました。さらに妻の詮子は日本で
4番目の女医でした。

私が驚いたのは、本田博士が株式投資や資産形成の父としてもっと有名だったことです。

多くの著書が貯蓄や資産を
増やす方法という著作がある
のも意外です。

東京大学の教授で40歳の頃
に今の価値で100億円ぐら
いの資産がありました。

そして大学を退官する61歳
の時ほとんどの資産を埼玉県
に寄付したそうです。

生家のあった久喜市菖蒲に
本田静六記念館があります。
時間のある方は見学に行っ
てみてはいかがでしょうか。

